# **脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血、クモ膜下出血）**

脳血管疾患については3種類の定義で各年度の有病者数を示しています。

定義１：傷病名コードが年度内にレセプト上で発生した人の数

定義２：傷病名コードに加えて、入院と画像検査を行った人の数

定義３：傷病名コード、入院、画像検査に加えて治療行為を行った人の数

傷病名コードはそれに関する治療を実施する際に必要となるので、該当疾患の治療中の方に傷病名がついているとは思われますが、急性期を過ぎた後のフォローアップ、つまり脳血管疾患後の経過観察をしているような患者にも傷病名がついていると考えられ、傷病名のみ（定義１）の集計は、入院や検査・治療を含めた定義（定義2，3）に比べて人数が多くなっています。

# **心筋梗塞**

定義1は、病名のみに着目しており、傷病名に主病名フラグが付いた患者としています。1年に1回でも主病名フラグのついた傷病名がレセプトに記載されている患者数をカウントしています。定義2は、主病名フラグに加えて、入院があった患者、定義3は、主病名、入院に加え、検査、治療を受けた患者としています。

傷病名は、それに関する治療を実施する際に必要となるので、該当疾患の治療中の方に傷病名がついているとは思われますが、急性期を過ぎて、その後のフォローアップをしているような患者にも傷病名がついていると考えられ、病名のみ（定義１）の集計は、入院や検査・治療を含めた定義（定義2，3）に比べて人数が多くなっています。

定義4は、該当疾患について、主病名には限らず、入院があって、検査、治療を受けた患者をカウントしています。何らかの別の疾患の治療をしながらも、該当疾患も併存している患者が含まれており、この定義での人数を示すことにも一定の合理性があると考えています。

# **急性大動脈解離**

急性大動脈解離については3種類の定義で有病者数を示しています。

定義１：傷病名コードが年度内にレセプト上で発生した人の数

定義２：傷病名コードに加えて、入院と画像検査を行った人の数

定義３：傷病名コード、入院、画像検査に加えて治療行為を行った人の数

傷病名コードはそれに関する治療を実施する際に必要となるので、該当疾患の治療中の方に傷病名がついているとは思われますが、急性期を過ぎた後のフォローアップ、つまり経過観察をしているような患者にも傷病名がついていると考えられ、傷病名のみ（定義１）の集計は、入院や検査・治療を含めた定義（定義2，3）に比べて人数が多くなっています。

# **心不全**

定義1は、病名のみに着目しており、傷病名に主病名フラグが付いた患者としています。

1年に1回でも主病名フラグのついた傷病名がレセプトに記載されている患者数をカウントしています。定義2は、主病名フラグに加えて、入院があった患者、定義3は、主病名、入院に加え、治療を受けた患者としています。

傷病名は、それに関する治療を実施する際に必要となるので、該当疾患の治療中の方に傷病名がついているとは思われますが、急性期を過ぎて、その後のゴローアップをしているような患者にも傷病名がついていると考えられ、病名のみ（定義１）の集計は、入院や検査・治療を含めた定義（定義2，3）に比べて人数が多くなっています。

定義4は、該当疾患について、入院しているかに限らず、治療を受けた患者をカウントしています。入院をせずに治療をしている軽症な心不全患者を含んでいます。